



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月28日

上場会社名 日本鑄鉄管株式会社 上場取引所 東
コード番号 5612 URL <https://www.nichu.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石毛 俊朗
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長谷部 圭一 (TEL) 03-3546-7675
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,935	2.9	△83	—	△59	—	29	—
2025年3月期第1四半期	3,823	9.8	△12	—	2	△95.2	△54	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 21百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △56百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	9.30	—
2025年3月期第1四半期	△17.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	23,697	9,576	38.9	2,867.68
2025年3月期	22,221	9,639	41.8	2,888.18

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 9,213百万円 2025年3月期 9,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

通期の期末配当につきましては、本日(2025年7月28日)公表いたしました「業績予想並びに配当予想の修正、特別利益の計上及び中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,000	6.3	230	△11.8	230	△14.1	0	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期連結業績予想の修正につきましては、本日(2025年7月28日)公表いたしました「業績予想並びに配当予想の修正、特別利益の計上及び中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	3,293,074株	2025年3月期	3,293,074株
2026年3月期1Q	80,064株	2025年3月期	80,064株
2026年3月期1Q	3,213,010株	2025年3月期1Q	3,213,035株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間においては、水道事業体のダクタイル鑄鉄管の発注量が全国的に前年度同様低調に推移しており、加えて資材価格の高騰や物流費、人件費、エネルギーコスト等の諸経費の上昇も続いており、収益を大きく圧迫する要因となっています。

当社はカーボンニュートラルへの取り組みとして、国の目指す排出CO2の削減目標の実現に向けて検討を進め、キュボラ炉からの転換を図ることを2023年8月7日に決定、公表し、電気炉の稼働を2025年7月より開始しました。今後、全量電気炉化に向けて進めてまいります。

上下水道の老朽化に伴う更新需要はあるものの、業界全体の生産設備が過剰な状態にある環境下において、当社と株式会社クボタ（以下クボタ）は、今後も社会インフラを支える企業として供給責任を果たしていくため、2025年3月27日に決定・公表いたしました通り、生産設備を再編し、クボタの京葉工場で生産している小口径（呼び径75mm～250mm）のダクタイル鉄管（直管）の完成品及び半完成品をOEM供給する製造合弁会社（当社の子会社として、久喜工場のダクタイル鉄管（直管）の製造部門を分社）の設立に向けた準備を開始し、クボタからのOEM受託生産に必要なダクタイル鉄管（直管）の生産能力の増強に係る投資（約27億円）を進めております。

また、今後の生産設備の再編やコスト低減等の当社の企業努力だけでは、現下の環境悪化への対応が極めて困難な状況であるため、販売価格の改定により適正な収益の確保を図ってまいります。

当社は今般、2028年3月期を最終決算期とする中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）を新たに策定いたしました。詳細は本日（2025年7月28日）公表の「業績予想並びに配当予想の修正、特別利益の計上及び中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご参照ください。

当社はESG経営を進め、継続的に発展していく企業を目指し、環境変化に柔軟かつ迅速に対応できる企業体質の強化を引き続き推し進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなっております。

売上高につきましては、子会社の売上が増加したこと等により、前年同期と比べ1億12百万円（前年同期比2.9%）増加し、39億35百万円となりました。

収益につきましては、電気炉の試運転に伴う一過性の費用等により、前年同期と比べ営業損益は71百万円減少し、83百万円の損失となりました。経常損益は61百万円減少し、59百万円の損失となりました。製造合弁会社設立準備に伴う受取精算金として特別利益に151百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円となりました。

引き続き、皆様のご期待に添えるような企業運営に努め、安定利益を確保できるよう一層努力してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億75百万円増加し、236億97百万円となりました。これは主に「現金及び預金」が7億3百万円、有形固定資産の「その他」が10億27百万円増加する一方で、「電子記録債権」が6億28百万円減少したこと等によるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ、15億38百万円増加し、141億20百万円となりました。これは主に流動負債の「短期借入金」が15億円増加したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、95億76百万円となりました。これは主に配当金の支払いによる減少80百万円と「親会社株主に帰属する四半期純利益」29百万円の計上等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月28日の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて未定としておりました2026年3月期の通期連結業績予想数値を公表することといたしました。

なお、詳細につきましては、本日(2025年7月28日)公表の「業績予想並びに配当予想の修正、特別利益の計上及び中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,908	3,612
受取手形及び売掛金	3,047	2,896
電子記録債権	3,362	2,734
商品及び製品	2,571	2,995
仕掛品	699	594
原材料及び貯蔵品	600	632
その他	202	376
貸倒引当金	△61	△55
流動資産合計	13,330	13,786
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,163	3,163
その他（純額）	4,083	5,111
有形固定資産合計	7,247	8,275
無形固定資産	469	455
投資その他の資産	1,173	1,179
固定資産合計	8,891	9,910
資産合計	22,221	23,697
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	765	1,110
電子記録債務	2,362	2,450
短期借入金	3,550	5,050
未払法人税等	71	35
賞与引当金	161	285
その他	2,257	1,183
流動負債合計	9,168	10,117
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
役員退職慰労引当金	45	41
退職給付に係る負債	17	18
負ののれん	9	8
その他	1,341	1,934
固定負債合計	3,413	4,003
負債合計	12,582	14,120

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,855	1,855
資本剰余金	264	264
利益剰余金	6,359	6,309
自己株式	△106	△106
株主資本合計	8,374	8,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	32
退職給付に係る調整累計額	871	857
その他の包括利益累計額合計	905	889
非支配株主持分	359	362
純資産合計	9,639	9,576
負債純資産合計	22,221	23,697

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,823	3,935
売上原価	3,208	3,357
売上総利益	615	578
販売費及び一般管理費	627	661
営業損失(△)	△12	△83
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	8	6
設備賃貸料	1	1
受取賃貸料	1	0
作業くず売却益	3	4
雑収入	—	22
その他	7	4
営業外収益合計	22	39
営業外費用		
支払利息	6	14
支払手数料	0	0
設備賃貸費用	0	1
その他	0	0
営業外費用合計	7	15
経常利益又は経常損失(△)	2	△59
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取精算金	—	151
特別利益合計	0	151
特別損失		
固定資産除却損	5	2
特別損失合計	5	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2	89
法人税、住民税及び事業税	27	35
法人税等調整額	16	16
法人税等合計	44	52
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47	37
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54	29
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	7
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△0
退職給付に係る調整額	△14	△14
その他の包括利益合計	△9	△15
四半期包括利益	△56	21
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64	14
非支配株主に係る四半期包括利益	7	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	ダクト 管・鉄 管関連	樹脂管・ ガス管 関連	計			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	3,273	549	3,823	3,823	—	3,823
外部顧客への売上高	3,273	549	3,823	3,823	—	3,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	14	14	14	△14	—
計	3,273	563	3,837	3,837	△14	3,823
セグメント利益又は損失 (△)	△76	59	△16	△16	4	△12

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	ダクト 管・鉄 管関連	樹脂管・ ガス管 関連	計			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	3,394	541	3,935	3,935	—	3,935
外部顧客への売上高	3,394	541	3,935	3,935	—	3,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	11	11	11	△11	—
計	3,394	553	3,947	3,947	△11	3,935
セグメント利益又は損失 (△)	△123	39	△83	△83	0	△83

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	118 百万円	189 百万円
負ののれん償却額	1 "	1 "